令和５年度駒形中学校　学校経営方針

校長　　渡邊和彦

教育目標……心身ともに健全で、高いこころざしをもち、社会に貢献できる人間を育てる

目指す学校『すべての生徒が安心・安全に生活し、夢や希望に向かって歩める学校』

教職員は、次世代の担い手である生徒一人一人を大切にし、その個性・能力を発見し、伸長させることが職務と考えています。その基盤となっているのは、教師と生徒間の信頼関係です。真実を求めて生きる教師と生徒、生徒同士、教師同士の心のふれあい、磨きあいが教育の原点であると考えています。

【育てたい生徒像】
〇こ……こころざしの高い生徒
（将来の夢や理想を抱いて、主体的に社会に貢献しようとする生徒）
〇ま……学び続ける生徒
（生涯にわたり新たな知識や技能、技術を身に付けようとする生徒）
〇が……我慢できる生徒
（自己の感情や行動を統制し、よりよい生活や人間関係を形成しようとする生徒）
〇た……他を思いやる生徒
（自分の良さや可能性に気付くとともに、他者を価値ある存在として尊重する生徒）

【教師像】
〇生徒・保護者・地域社会と喜びを共有することのできる教職員
〇使命感をもち、信頼される言動・行動と組織的な対応ができる教職員
〇主体的に研修を行い、日々の実践とともに自己研鑽を継続する教職員

【学校像】
〇生徒が夢や希望に向かって歩める学校
〇生徒・保護者・地域社会・教職員が互いに信頼され、誇りに思える学校
〇教職員が心身ともに健康で生徒のために力を発揮できる学校

本年度の取組の重点

1）「心に残る教育」の実践
①課題発見・解決する能力の開発と確かな学力の向上
・教員は授業力向上・授業改善に努め、生徒の興味・関心を引き出し、自ら課題を見つけ解決する繰り返し行えるよう支援します。タブレット端末をはじめＩＣＴ機器を効果的に活用した授業の工夫を継続と、家庭での利用等効果的な機器活用に取組ます。「放課後学習教室」や「駒中スタディ」等により学習習慣の育成と学習意欲の向上を図ります。
②美しい心とこころざしの育成
「特別の教科　道徳」を要として、教育活動全体を通じて規範意識、公共心、奉仕の精神などの育成と人権教育の充実を図ります。
「アンガーマネジメント」を全校で継続実践し、より望ましい人間関係を構築します。
2）組織的な生活指導・特別支援教育の充実
・全教職員で組織的に情報の共有、指導の連携し、いじめの早期発見・早期対応するためアンケートを**年間4回以上行います。**
・生徒一人一人にきめ細かな支援と専門家と連携した相談体制を充実します。
3）開かれた学校づくり
・学校だよりや学校ホームページ、学校情報配信システムなどをはじめとする情報発信の工夫に努めます。
・ボランティア活動への積極的な参加などを通して、地域との関わりを深めます。